

猫「さね」についてのお知らせ



このたび、当園で暮らしていた猫の「さね」が令和8年6月28日に永眠いたしました。

さねは高齢となり、さまざまな病気と向き合いながらも、必要な治療を受け、スタッフや獣医師に見守られながら、穏やかな日々を過ごしていました。

人にも猫にも優しく、誰とでも自然に打ち解けられる、穏やかで思いやりあふれる猫でした。診察中でも安心してように喉を鳴らすほど人を信頼し、獣医師からは「ここまで心を許してくれる猫は珍しい」と言われるほど、多くの人に愛される存在でした。

また、一緒に暮らす猫たちを気遣い、仲間にそっと寄り添ったり、静かに見守ったりする姿も日常の風景でした。

食いしん坊だったさねにとって、ごはんの時間は一日の何よりの楽しみ。夢中になってごはんを頬張る姿は、スタッフみんなに笑顔と癒やしを届けてくれました。

これまで多くのお客様にも温かく見守っていただき、たくさんの愛情に包まれながら幸せな毎日を送ることができました。

皆さまからいただいた優しさは、さねにとって何よりの幸せだったと思います。これまで温かく見守り、可愛がってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

さねとの思い出が、これからも皆さまの心の中で優しく生き続けますように。

本当にありがとうございました。

ハーベストの丘
動物スタッフ一同